

2014（平成26）年度 事業計画書

特定非営利活動法人あおもりラジオくらぶ

（1）事業実施の方針

本法人が運営しているインターネットラジオステーションA i r+（エアプラス）を活用し、多くの青森市民に伝える楽しさ、伝わる喜びを実感してもらうための場を積極的に設け、多くの市民の参加、幣法人の社会的理念の理解者、共感者を増やす。また、昭和通りオープンスタジオの場を活かした試みも行っていく。

（2）事業実施に関する事項

①情報受発信力を習得するための事業

A i r+（エアプラス）を活用し、番組制作を通じてパーソナリティや制作者の育成を行う。

②メディアを活用する事業

・ A i r+（エアプラス）を活用した番組制作及び配信、及び微弱電波によるミニFM放送を行う。（平成26年度青森県市町村振興協会地域づくり推進ソフト事業）

・ コミュニティ放送局向けのラジオ番組の制作及び供給

・ イベント等の配信支援業務

・ 団体や事業所等の番組制作協力

③市民メディア・地域メディアに関する政策提言・調査研究の事業

・ 青森市におけるコミュニティ放送設置に向けた呼びかけ（通年）

前述のようなエアプラスの取り組みも活用しながら、コミュニティ放送設置の意義を伝え、共感者を獲得する。

④その他この法人の目的を達成するために必要な事業

・ 会員の獲得

会費は組織の財政基盤の基礎である。このため、会員の獲得への取り組みを引き続き進めていく。

【参考】2014年5月31日（土）現在の会員数

正会員：11名 サポーター会員：4名・法人

・ 青森県被災者交流総合支援事業（青森県東青地域県民局より補助）

現地で被災し、青森県内に避難をしている皆さんと県民との交流の場を支援する。

（7月6日（日）に実施する県外避難者総合交流イベントの弘前地区を担当する。）

5. その他

6月よりスタジオをE号室からF号室に移転する。

【理由】

- ・E号室よりきれいである。
- ・これまでと同条件（家賃同額）であり、加えて物置スペースがある。
- ・物置スペースに機材等を置いておくことにより、スタジオ部分が広くなり公開放送や会議等様々な使い方ができる。

【活用方法案】

・公開放送

ミュージックパレットなどの音楽番組でスタジオライブ等を行うように番組のバリエーションが出てきている。スタジオ見学者も数人来ている。それであれば、公開収録にしてしまってもいい。

・イベント

ライブパレットのように2階のホールを使うほどではないが、アコースティックライブで10名程度の観客を入れたイベントのイメージもある。以前やっていたキューティブロンズのお笑いライブを復活させるのも一案。

・アナウンス講座、番組制作講座等のセミナー

分野を問わない。公民館系では料金が発生するものはやりにくいが、ここではやってもいい。深夜帯もできる。

・会議

・ギャラリー（独自、またはテコギャラリーの補完もありうる）

・レンタルスタジオ

以前の入居者が行っていたような1時間いくらという外部への貸し出しも行いたい。

【名称】

Studio Whiteroom を引き継ぐことを検討。

【問題点】

物置スペースの修繕が必要（トイレの排水溝をふさぐこと）。

2階のホールの催事の際のノイズや振動が入る（これまでの部屋でもあった）。

【進め方】

6月5日までに、機材等を移動する。

なお、物置に関しては、6月2日に業者が見て、修繕の程度を判断するため、修繕が完了するまでは、機材等はスタジオ部分に置く。